

有馬記念館年報 第2号

平成27(2015)年度

平成28年12月
公益財団法人有馬記念館保存会

ごあいさつ

有馬記念館は、昭和 34 年（1959）の久留米市制 70 周年を記念して、石橋正二郎氏（株式会社ブリヂストン社長・当時）より施設を寄贈され、昭和 35 年に開館し、久留米の郷土資料館として親しまれてきました。

平成 21 年度には、久留米市制 120 周年と石橋正二郎氏生誕 120 年を記念して、施設の改修工事を行い、平成 22 年 11 月 28 日にリニューアル・オープンしました。以来、特別展・企画展など、数々の展示会を開催し、大名有馬家や久留米藩ゆかりの歴史資料・美術工芸品を公開してまいりました。

平成 27 年度にリニューアル 5 周年を迎え、リニューアルオープン以降、27 年度末までに延べ 61,358 人にご来館いただきました。今後も、郷土資料の収集及び調査、公開を進め、久留米をテーマとした展示会を中心に開催してまいります。

事業の周知のため、平成 27 年度に年報を創刊し、このたび第 2 号を発行することとなりました。当館の活動を知っていただき、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月 28 日

公益財団法人有馬記念館保存会
会長 檜原 利則

目次

I 有馬記念館の概要	1
1. 施設の設置	1
2. 施設の管理	1
3. 施設の概要	1
4. 運営	2
5. 予算	3
6. 開館時間	3
7. 入館料	3
II 平成 27 年度事業の概要	4
1. 展示	4
2. 広報	8
3. 教育普及	9
4. 収蔵資料の活用状況	9
5. 入館者数	10

I. 有馬記念館の概要

1. 施設の設置

有馬記念館は、昭和 34 年(1959)の久留米市制 70 周年を記念して、昭和 35 年に郷土資料の調査・研究を目的に、当時の株式会社ブリヂストン社長・石橋正二郎氏より寄贈されたものである。市制 120 周年にあたる平成 21 年度に改修工事を行い、翌 22 年度にリニューアル・オープンした。

2. 施設の管理

公益財団法人有馬記念館保存会事務局（久留米市市民文化部文化財保護課内）

※当財団は公益財団法人の認定を福岡県知事より受け、平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行。

3. 施設の概要

所在地 福岡県久留米市篠山町 444 番地

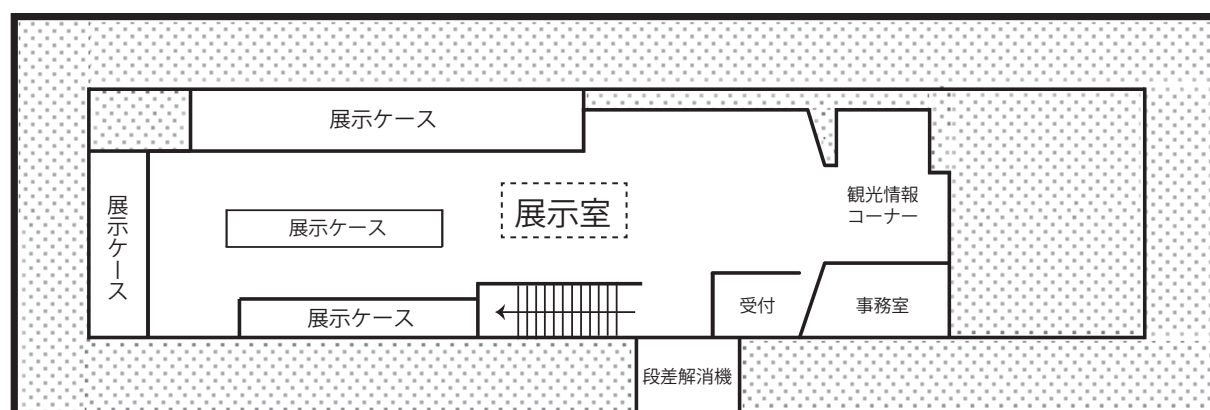
建築面積 492.9㎡

構造 鉄筋コンクリート造 2階建

竣工 昭和 35 年 3 月 28 日

（平成 22 年度有馬記念館内外改修・耐震改修工事実施）

有馬記念館展示室（2階）平面図



4. 運営

公益財団法人有馬記念館保存会

役員名	氏名	所属
会長	榑原 利則	久留米市長
副会長	本村 康人	久留米商工会議所会頭
常務理事	野田 秀樹	久留米市市民文化部長
理事	山田 茂人	篠山神社宮司
理事	神代 正道	久留米大学理事長
理事	酒井田 達朗	株式会社ブリヂストン九州生産本部総務部長
監事	権藤 尚彦	株式会社福岡銀行執行役員・県南地区本部長
監事	長尾 孝彦	久留米市会計管理者

評議員	橋本 政孝	久留米市副市長
評議員	樋口 一成	久留米郷土研究会代表
評議員	河北 宣正	篠山神社総代
評議員	辻 文孝	公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会常務理事
評議員	木村 裕	株式会社ブリヂストン九州生産本部総務部総務課長
評議員	竹村 政高	久留米市市民文化部次長

・事務局

事務局長（1）－ 事務局次長（1）－ 事務局員（7）

職名	氏名	所属
事務局長	園井 正隆	久留米市市民文化部文化財保護課 課長
事務局次長	白木 守	同 課長補佐
書記	小形 孝徳	同 事務主査
書記	小澤 太郎	同 主任主事
書記	穴井 綾香	同 主任主事
書記	佐藤 響子	同 主事
書記	津村 眞知	同 主事
書記	井上 美樹	同 任期付非常勤職員
書記	高取 莉沙	同 任期付非常勤職員

5. 予算

経常収益費計 15,462,438 円

経常費用計 20,205,749 円

6. 開館時間

開館時間 10:00 ～ 17:00（但し、入館は 16:30 まで）

休館日等 毎週火曜日（火曜日が祝祭日の場合はその翌日）

年末年始 展示替期間

7. 入館料

- ・ 高校生以上 200 円（150 円） 小中学生 100 円（50 円） ※（ ）内は 15 名以上の団体料金
- ・ 毎週土曜日は高校生以下無料
- ・ 身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者は無料
- ・ その他の減免制度あり

有馬記念館 外観



II. 平成 27 年度事業の概要

1. 展示

(1) 第 1 回企画展「江戸のふしぎな動物たち」

会 期 平成 27 年 6 月 6 日 (土) ～平成 27 年 8 月 31 日 (月)
 内 容 学校の夏休み期間に合わせて、小・中学生とその家族も一緒に楽しめる＝幅広い世代が親しみやすい「動物」をテーマとし、江戸時代に描かれた絵画を中心に紹介する企画展。

会場では「江戸のみちかな動物たち」、「海外からやってきた動物たち」、「絵草子のなかの動物たち」、「日本のめずらしい動物たち」という 5 つのコーナーを設け、前期・後期で一部作品の入替えを行い、総数 83 点を展示公開した。

会期中には、展示作品をもとに「判じ絵クイズ」の回答を募り、関連イベントとして「折り紙でつくろう動物たち」(8 月 1 日、講師：関根千鶴子氏)を開催した。(六井)



展示風景



イベント風景



1. 鷹 タカ：謡曲「高砂」(たかさご)の場面が上部分だけ描かれている 3. 鶴 ウ：白(うす)の上部分だけ
 5. 尾長 オナガ：尾が長い 6. 鳩 ハト：戸に掛 7. 燕 ツバクロ=ツバメのここと：蝶(つば)が黒い
 8. 鶴 ツル：つるべの上部分 10. 庵 ガン：扇をかけている 11. 風車 ホウオウ：扇に玉(羽)
 13. 目白 メジロ：黄点のある頬に目 14. 雀 スズメ：すずみに目 15. 扇 ヒワ：輪に火 16. 鶴 ウズラ：うずらに「ら」
 17. ホオジロ：春じると言われて織ぞう 18. 籠 バン：番人 19. 鴨 シギ：注連木(しめき)の中が抜けて下部に黒点がある
 21. 時鳥 ホトトギス：帆が刀斬ぎ(かたなぞぎ)をしている *2・4・9・12・20は判じ絵クイズ

判じ絵クイズパネル

(2) 第2回企画展「大名有馬家名品展」

会 期 平成27年9月19日(土)～平成27年11月16日(月)

内 容 大名有馬家ゆかりの美術工芸品や歴史資料から、選りすぐりの品々を公開した。

書画・装束、武具・甲冑、絵巻、その他茶道具や印章、自筆原稿などのコーナーに分け、近世から近現代に及ぶ有馬家の歴史を紹介した。

特に、10代藩主有馬頼永と11代藩主有馬頼成所用の甲冑を二つ並べて展示し、両者を見比べる点を見所とした。展示総数58点。

会期中、関連イベントとして講演会「武家のアイデンティティー—久留米藩主有馬家の武具甲冑—」(10月17日、講師：立花家史料館館長 植野かおり氏、参加者40名)を開催。平安・鎌倉時代からの甲冑の歴史に始まり、有馬家では甲冑の形が代々踏襲されていることを豊富な写真を使って解説していただいた。(佐藤)



展示風景



講演会風景

(3) 第3回企画展「久留米藩の参勤交代」

会 期 平成27年11月28日(土)～平成28年1月25日(月)

内 容 久留米藩の参勤交代を分かりやすく紹介するため、5つのコーナーで構成した。

「1. 参勤交代とは」では、幕府の武家諸法度や久留米藩の法令などから、参勤交代という制度について解説。「2. 久留米から江戸へ」「3. 江戸の住まい」「4. 行列と道具」では、久留米藩主の一行が、久留米から江戸まで向かう道中の様子や、江戸に到着してからの生活について、絵画や地図、携行品などから紐解いた。そして「5. 藩士の道中日記」では、藩主の供をして江戸と久留米とを行き来した藩士たちの日記を読み解き、江戸時代の武士の旅に迫った。展示総数 38 点。



(六井)



展示風景



宿札



歌川豊国「大井川の渡し」



藩士の道中日記

※資料は久留米市教育委員会所蔵

(4) 第4回企画展「おひなさまとミニチュアのお道具」

会期 平成28年2月13日(土)～平成28年4月4日(月)

内容 3月3日のひな祭りに合わせた企画として、有馬家ゆかりのひな道具を公開。中でも、^{うきは}浮羽の旧家河北家が有馬家から拝領したと伝わるミニチュアの調度類は、筆筒や棚、文房具、食器類などが蒔絵で装飾された精巧なものであり、これら80点余りを一堂に展示した。また、有馬家で実際に飾られていたひな壇を再現した。展示総数245点。

会期中、関連イベントとしてワークショップ「春の香りの印香作り」(3月12日、講師：株式会社天年堂 稲生敏美氏、参加者23名)を開催。有馬家にゆかりのある、久留米市内の香舗から講師を招き、香粉を練り合わせ型抜きする印香作りを体験した。(佐藤)



展示風景



イベント風景

2. 広報

(1) 広報活動

◆印刷物

年間スケジュールリーフレット

各企画展のポスター・チラシの製作・配布（4回）

◆ホームページ

展示会・イベントの案内や、開館情報等を随時更新している。

(2) 報道記事

掲載月日	掲載紙等	内容
6月1日	広報くるめ	有馬記念館 企画展「江戸のふしぎな動物たち」
6月7日	毎日新聞 朝刊	江戸のふしぎな動物 版画など企画展 ラクダや擬人化カエル
6月16日	熊本日日新聞 朝刊	江戸のふしぎな動物たち
6月20日	西日本新聞 朝刊	動物題材の版画 80点 久留米市・有馬記念館で企画展
9月25日	西日本新聞 朝刊	大名有馬家名品展
10月14日	朝日新聞 朝刊	講演会「武家のアイデンティティー 久留米藩主有馬家の武具甲冑」
11月29日	読売新聞 朝刊	久留米藩 参勤交代 1,100キロの様子 有馬記念館 武士の日記など 40点
1月8日	西日本新聞 朝刊	久留米藩の参勤交代を紹介 有馬記念館 絵画や地図など多彩に
1月12日	熊本日日新聞 朝刊	久留米藩の参勤交代
3月1日	熊本日日新聞 朝刊	おひなさまとミニチュアのお道具
3月4日	西日本新聞 朝刊	おひなさまとミニチュアのお道具

(3) 展示・イベント情報掲載紙

◆新聞

朝日新聞 熊本日日新聞 西日本新聞 読売新聞

◆フリーペーパー

Agena Dogena アン・ナップル クロスロードふくおか 月刊 SKIP 月刊ぷらざ TOBU
COCOMI ご当地新聞くるめすたいる セカンド ほとめき 久留米広域圏イベントカレンダー

◆地方公共団体広報紙

広報くるめ

◆その他

吉川弘文館 PR 誌「本郷」

3. 教育普及

◆学校見学受入れ

10月15日 久留米市立城南中学校 (9名)
10月20日 福岡県立明善高等学校 (125名)
10月22日 福岡県立明善高等学校 (43名)
11月5日 久留米大学文・法学部 (64名)
11月9日 久留米大学医学部 (22名)
11月12日 久留米大学経済・商学部 (54名)
11月14日 久留米大学 博物館学講座 (9名)

4. 収蔵資料の活用状況

◆写真撮影

許可日	申請者	目的	内容
8月28日	伊藤悦子	中世軍記物語の近世における享受(絵画)状況についての調査	源平合戦図屏風

◆印刷物掲載

許可日	申請者	目的	内容
12月14日	株式会社ドリーム キングダム	「忘却の日本史 九州篇」 第3号掲載	有馬頼寧肖像写真ほか全 9点
2月9日	久留米市	「久留米市文化財保護課 年報 Vol.11 平成25年 度版」掲載	有馬則頼宛羽柴秀吉朱印 状
3月17日	宗教法人水天宮	水天宮新社殿造替「記念 写真冊子」掲載	犬筥(犬張子)

5. 入館者数

(1) 平成 27 年度 入館者数 (展示会別)

展示会名	開館日数	入館者数 (人)		
		有料	無料	合計
第 1 回企画展「江戸のふしぎな動物たち」	75	994	434	1,428
第 2 回企画展「大名有馬家名品展」	51	1,054	554	1,608
第 3 回企画展「久留米藩の参勤交代」	47	824	181	1,005
第 4 回企画展「おひなさまとミニチュアのお道具」	45	1,126	907	2,033

(2) リニューアル・オープン～平成 27 年度 入館者数 (年度別)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
入館者数 (人)	4,375	11,264	28,148	5,605	5,388	6,578
展示会数	企画展 2	特別展 1 企画展 3 常設展 3	特別展 1 企画展 1 常設展 3	企画展 2 常設展 2	企画展 3	企画展 4

※H 22 は、11 月 28 日以降

有馬記念館年報 第2号

平成27(2015)年度

平成28年12月28日

発行 公益財団法人有馬記念館保存会
福岡県久留米市篠山町444

印刷 香和印刷株式会社
